

特 集

特集「学習管理システム」編集にあたって

総合情報基盤センター 講師 上木 佐季子

今回取り上げる「学習管理システム」は、Web による授業設計や授業管理を行うシステムで、授業資料の表示、課題提出、オンラインクイズ、掲示板、eメール、学生および成績管理などが簡単に行えるものです。この「学習管理システム」は、遠隔講義のツールとしてだけではなく、授業と併用して利用することで、授業改善のツールとしても注目され、多くの大学で導入されています。

総合情報基盤センターでも「学習管理システム」として、Blackboard、WebCT そして Moodle の 3 種類を導入しており、それらのシステムには、現在約 30 名の教員がコース作成者として登録し、システム上に授業用コースを開設し活用しています。しかし一方で、コース登録はしたが、授業での活用までには至っていないという声やそもそもこれらシステムの利用には敷居が高すぎて・・・という声も多く聞こえます。そこで、実際にこれらのシステムを授業で活用している先生方の観点からの特集を組むことにしました。

本特集「学習管理システム」の内容は以下の通りです。

小川亮先生（人間発達科学部）の「Black Board System を用いた授業運営の現状と課題」では、Blackboard の機能を概観し、それらを利用した学習の流れを紹介します。

高井正三先生（総合情報基盤センター）の「これなら使える WebCT ー情報処理での試みー」では、WebCT の機能およびそれらのメリットを紹介し、それらを教養教育科目「情報処理」で利用した実践例を紹介します。

渡邊了先生（理工学研究部）の「地球科学概論 I における Blackboard の活用」では、Blackboard を利用した講義資料の公開および確認テストの実施例を紹介します。

鼓みどり先生（人間発達科学部）の「Blackboard を使って」では、配付資料の電子化についてと Blackboard の掲示板の利用例を紹介します。

岩田真一郎先生・中村和之先生（経済学部）の「経済学入門」における Blackboard の利用」では、Blackboard 上での練習問題に関して、その作成と導入効果について紹介します。

白石俊輔先生（経済学部）の「24 時間は営業中」では、学習管理システムを授業で利用するための毎回の準備と事後処理に関する問題について論じていただきます。

モブジユク・オレクサンダー先生（経済学部）の「Blackboard と WebCT」では、Blackboard および WebCT でのオンラインテスト自動採点機能と成績管理について論じていただきます。

大工原ちなみ先生（人文学部）の「Blackboard とアルクネットアカデミーを用いた英語 A の授業紹介」では、TOEIC 学習用オンラインシステムとテキストを併用した教養教育科目「英語 A」での Blackboard 導入例を紹介します。

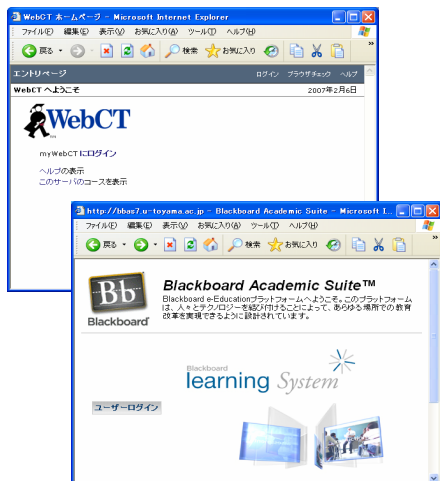
草薙太郎先生（人文学部）の「WebCT 利用の英語(TOEIC)クラス」では、WebCT を利用した実践報告と富山大学での外国語教育に関わる e ラーニングの問題点および情報処理教育との連携の必要性について論じていただきます。

なお、今回の特集では紹介できませんでしたが、学習管理システムが持つ機能の一つのみを利用する先生方もいらっしゃいます。例えば、ペーパーで行った小テストの結果のみをコース上に発表するという利用法（受講者は、システムにログインすることにより、自分の評価結果のみを確認することができる）。また、課題の提出、返却のみをコース上で行う利用法（通常の e メールで行った場合と違い、他のメールと一緒にすることはなく、また課題毎の集計が簡単にできる）。

本特集が、学習管理システムに対する皆さんの興味を深める契機となれば幸いです。

最後に、お忙しい中、本特集号の執筆にご尽力いただいた先生方および有益な助言をいただいたコース作成ユーザの先生方に深謝いたします。

.....



2005年秋にBlackboard社とWebCT社が合併し、2つの製品を統合した新しい製品名としてBlackboard Learning Systemが使われることになりました。そこで、今回の特集記事内では、現在導入されている2つのシステム(つまり旧Blackboard Learning Systemと旧WebCT)と統合された製品を区別するために、次のように記述することにしました。

- 旧 Blackboard Learning System → Blackboard
- 旧 WebCT → WebCT

.....